

毎週日曜発行
2020 2/16

こども新聞 週刊がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

気仙沼市出身の陸上女子やり投げ(F46)の齋藤由希子選手(26)は、福島市、S M B C 日興証券は、もともと砲丸投げの世界記録保持者。事情があつて、やり投げで東京パラリンピック出場を目指しているよ。

齋藤 由希子選手(26)

陸上やり投げ 福島市

着けて生活しています。子どもの頃からスポーツが得意で、中学で砲丸投げを始めるとめきめき成

さいとう・ゆき 1993年気仙沼市出身。砲丸投げの世界記録とやり、円盤投げの日本記録を持つ。166センチ。



しかし、齋藤選手が出場できるクラスの砲丸投げは競技人口が少なく、パラリンピック実施種目になりませんでした。や

「落ちこんだし、出場クラスの砲丸投げが実施されないのも納得できなかった。でも、どうしてもパラリンピックに出たくて、考え抜いた末にやり投げに集中すると決めた」。今は夫でコーチの

恭一さん(29)と二人三脚の毎日です。



障害について「どこかでマイナスに感じている」と明かします。「同時に障害を理解してほしいとも思う。東京大会が障害者への偏見をなくすきっかけになってほしいし、そこに挑戦できるのは幸せ」と前向きです。高校時代には故郷で

種目を変えて全力で挑戦

令和での躍動誓う 東京パラ

人の背丈よりも長い2・3メートルのやりを勢よく投げると、やりは弧を描いて地面に刺さりま



やり投げの練習に励む齋藤選手。1月、福島市信夫ヶ丘陸上競技場

東日本大震災を経験し、自宅を失いました。だからこそ、目の前の日々や目標に精いっぱい取り組めます。東京大会出場は6月までの成績で決まります。「不安もあるが、後悔しないよう一日一日を全力で過ごす」

「どんな時も笑顔であれば未来は開ける」と話す齋藤選手。明るくすてきな笑顔を東京大会でも見たいね。

今週の注目ニュース

◇20日(木) ベルリン国際映画祭(～3月1日、ドイツ)

東日本大震災で被災した岩手県大槌町の電話ボックスをモチーフにした「風の電話」が出品されるんだ。犠牲者と遺族の気持ちをつなぐ場を描いた作品だよ。

◇21日(金) さつまいも博(～24日、さいたま市) 徳島や鹿児島など名産地の生産者から、サツマイモの魅力を学べる交流会があるよ。焼き芋の食べ比べセットを買えば、グランプリを選ぶ投票に参加できるんだ。

きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7

かほくワークシート

8 年賀状